

26-5 ポリマーフロンティア 21（オンライン開催）

粘接着技術の最新動向

粘接着技術は、異種材料の接合、製品の軽量化・高機能化を支える重要な要素として、多様な産業分野で大きな役割を果たしています。特に近年は、環境負荷低減や易解体設計をはじめとするリサイクル対応など持続可能性への要求が高まり、粘接着技術にも革新が求められています。本講演会では、最先端の界面解析による粘接着機構の研究および、粘接着技術について最新の研究・開発動向を企業やアカデミアの研究者の方々からご紹介いただきます。

主 催 高分子学会 行事委員会

協 賛 (予定) 日本接着学会、日本接着剤工業会、日本ゴム協会、日本化学会、日本レオロジー学会

日 時 2027 年 1 月 22 日（金）10:20－17:00

プログラム

<10:20～11:10>

1. 循環型社会の実現に向けた易剥離・易解体技術 (日東電工) 小坂 尚史

循環型社会の実現に向け、製品の修理や分別回収を可能とする易剥離・易解体技術への関心が高まっている。本講演では、光、熱、電気、水などの外部刺激により接着機能を ON/OFF 制御する新規技術の開発動向を紹介する。

<11:10～12:00>

2. 瞬間接着剤の最新開発動向 (東亜合成) 安藤 勝

従来のシアノアクリレート系接着剤にない機能を付与した瞬間接着剤の最新展開を紹介。光硬化性や超高速接着、弾性を備えた材料について、技術的工夫や応用例を交えて解説し、産業課題解決への可能性を示す。

<13:20～14:10>

3. 原子間力顕微鏡を用いた高分子ナノメカニクスの粘接着分野への応用 (東京科学大学) 中嶋 健

原子間力顕微鏡を用いた高分子ナノメカニクスは、さまざまな高分子材料の物性発現メカニズムの解明に利用できる強力なツールであるが、本講演ではその粘接着分野への応用について解説する。

<14:10～15:00>

4. 易解体性接着材料の設計：高分子反応と界面相互作用の制御の観点から (大阪公立大学) 佐藤 絵理子

易解体性接着材料の設計について、高分子反応の精密制御や界面相互作用の制御の観点から、設計指針や具体的事例を紹介する。さらに、高い接着性と優れた解体性の両立に向けた材料設計の考え方を解説する。

<15:20～16:10>

5. 超分子架橋技術を用いた環境対応型粘着シートの開発 (リンテック) 小鯖 翔

適切に架橋された粘着剤は、工業製品の製造に不可欠である一方、各種構成部材の再利用を妨げている。既存の架橋に代わり、トポロジカルな架橋を取り入れることで、粘着剤の易解体およびリサイクルを実現した系について紹介する。

<16:10～17:00>

6. フッ素樹脂に接着可能な粘着テープの開発 (積水化学工業) 緒方 雄大

フッ素樹脂は優れた材料特性を持つ一方、接着が極めて困難である。本講演では、バイオミメティクスに着想を得た新規粘着剤設計により、表面処理不要でフッ素樹脂接合を実現した粘着テープ技術を紹介する。

定員 300 名 申込締切 2027 年 1 月 15 日（金）正午

参加費（税込）企業 22,000 円/大学・官公庁 11,000 円/学生 1,100 円

名誉・終身・フェロー・ゴールド・シニア会員 3,300 円

詳細・お申込み <https://member.spsj.or.jp/event/>

年会費制団体はチケット利用で無料または 20%割引（詳細は[年会費制 HP](#) 参照）

